

Ⅲ 計画推進のために

1 市民とともに

地域社会が抱える今日的課題は、それぞれが置かれた立場や状況、価値観などにより多種多様となっています。こうした多様なニーズに的確に対応し、効果的で効率的なサービスを提供するためには、市民と行政が協働しまちづくりを進めていく必要があります。

協働のまちづくりの基本となる市民と行政の情報共有のために、広報やホームページなどを通じて情報を提供し、市民への情報公開を積極的に実施します。

さらに、さまざまな機会を通して市民意見を施策に反映することはもちろん、市民参画による計画策定や事業の実施、そして事業の評価などを推進します。

市民一人ひとりが地域社会に一層関心を持ち、主体的にまちづくりに参加することで、この総合計画を大きく推進することができます。



2 計画の確実な実行

計画の策定・実行は、目標（計画）づくり（Plan）から始まって、行動（Do）→確認（Check）→改善（Action）のサイクルを常に繰り返しながら進めていく必要があります。

本計画は、達成および進捗状況を外部の評価を受けながら毎年度確認し、その内容を常に公表します。また、毎年予算化される各事業は、その選択や実施方法が適切であるか、最小の経費で最大の効果が得られているかを評価し、その結果を公表します。

また、各個別計画については、本総合計画の定める方向性に従い、具体的な実施内容を記載するものとし、本計画と連動して、評価と検証を行います。

なお、基本計画部分は、社会情勢の変化、各年度の取り組みと検証結果を踏まえ、5年後を目途に見直しを行います。

